

生徒による

科技高 いきもの記

Vol.75 2023.4.18

3年3組 下山田 樹

春こそ海へ！

干潟の生き物採集

私のことを覚えていただく少ないいきもの記ご愛読者様、大変長くお待たせしました。下山田です。そして初めましての方、そんな奴とっくの昔に忘れちゃった！なんて方々には改めて、3年の下山田です。いきもの記を書くのは久しぶりになってしまったが、別にサボってたわけでは無い。それこそ去年の夏場なんてネタ集め（虫採りやらなんやら）で東奔西走していたのだ。でも写真を撮っていなかったのだ。やはり写真と文章を両立している佐藤先生は流石だなあと思う。

ところでみなさま、海ってどの時期に遊ぶイメージだろうか？やはり夏が多いだろう。だが、海は海でも**干潟で遊ぶならこの時期（春）もなかなか面白いのだ**。水も意外とあったかい（なんなら筆者は半袖長ズボンで腰まで使っているが寒いとは思わなかった）。んじゃあ遊ぶにしても何をやるのかと思った人に。**決まっているだろう！魚を採るのだ！**（もちろん他の生き物を採るのも楽しいぞ）。1000円くらいの青い網一つあれば大体なんとかなるものである。伸び縮みタイプは砂が詰まるので伸縮しない網が良い。**では採り方だ！**至ってシンプル。網を体と同じ位置か少し後ろにズレるくらいの位置で横に構える。あとはそのまま底に網を軽く当て歩くだけである！あとは数m間隔で網の中を覗こう！何かしら入っているだろう！意外と腕がしんどいので準備運動は軽くしておこう。

さて、説明ばっかじゃ面白さが伝わりきらなさそうなので何が採れるか具体例を。筆者はこの日は**スズキ、イシガレイ、ボラ、ハゼ科の一種**（ここまでALL幼魚。ギョリコン※には嬉しいのだ）や、**ヒモハゼ、アカエイ**（捕獲順）と**アナジャコ**やら**マメコブシガニ**やらが2時間ちょいで見られた。とにかく行けば分かる！めちゃくちゃ面白いから一度行ってみたい欲しいのだ。

それはそうと、アカエイなのだが、刺されると割とマジで痛いので気をつけよう。見かけてもそっとしておくのが1番だ。あとはアカクラゲなんかの割と強い毒を持つクラゲもよくいるので気をつけたい。

今年は1ヶ月に一回くらいのペースで書いていきたいなあと思いつつ、今回の科技高いいきもの記は終わろうと思うのだが、これを読んで干潟に行く気になってくれる人が増えたらいいなあ。

（文・写真：下山田）



高西臨海公園の干潟



スズキの幼魚



イシガレイの幼魚



マメコブシガニ



コメツキガニ



テッポウエビの一種



アナジャコ



アナジャコ



アカエイ（死骸ではない）

※佐藤注 幼魚を愛でる人をギョリコンと呼ぶらしい。「ギョ」を「口」に変えれば由来は分かるだろう。私も初めて知った…。